

## 2026年丙午、事始め

新年のスタートを皆さんはどのように過ごしましたか。ここに私の生活の一部を紹介しておきます。

■ 12月31日(水) 横浜線→小田急江ノ島線→江島電鉄にて腰越にある HOTEL AO Kamakura まで移動。3家族9人で宿泊、賑やかに年越し。もは蕎麦屋だったという HOTEL で、しかも江ノ島海岸沿い。夕方には海岸に出て、夕陽を眺める。1階の喫茶兼用のレストランでは夜 10:30 からは「年越し蕎麦」も供された。

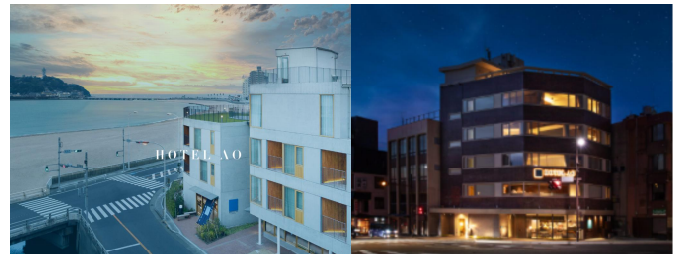
■ 1月1日(木) 江ノ島海岸東浜に出て、初日の出を遙拝。今年度の『さらなる飛躍』を願うが、余りの人の多さに圧倒される。HOTEL に戻って屋上テラスに行き、温かい「出汁」スープをいただく。その後、腰越漁港の脇にある小動神社にて初詣。皆さんの健勝とさらなる発展を祈願。午後には皆は車、私は片瀬江ノ島より小田急江ノ島線を利用して帰宅。再度、我が家で長男一家4人を迎え、そのまま宿泊。祝膳は高島屋から御取り寄せ。長女の家族3人は婿の実家のある戸塚へ。

■ 1月2日(金) 昼過ぎに長男一家は帰宅の途へ。夜は自宅にて学校の昇降口に飾る「馬の点描画」を綿棒を使って制作。

■ 1月3日(土) 中央大学 10 区 (23.0km) 最終ランナーに昨年 7 区を走った吉中 祐太選手が出場変更になったことを知る。彼は、我が母校(山口県立豊浦高校)陸上競技部の後輩で応援に品川まで出かけた。しかし、結果は1時間10分33秒(区間15位)と振るわず、中大は國學院大学、順天堂大学、早稲田大学に抜かれて総合第5位に沈む。

■ 1月4日(日) 午前中より丸の内の旧明治生命館(重要文化財)、曜変天目茶碗で有名な静嘉堂文庫美術館にて『たたかう仏像』展に出かける。重要文化財《十二神将立像》(浄瑠璃寺旧蔵)をほかの作品群を観賞。12 という数字に絡め干支に因んで、外敵や災厄から人々を守る守護的役割が期待され、衆生の救済、個人の内面の「煩惱」とたたかう存在として信仰されたという。

■ 1月4日の午後は、12月初旬に出かけたエジプト旅行の思い出を胸に、築63年になる上野の東京文化会館にて16:00より3時間半に及ぶウクライナ国立歌劇団『アイーダ』を観賞。バックステージツアーにも参加(私学共済のイベント抽選に当選したお陰)。



HOTEL AO Kamakuraの概観 HPより



2025年12月31日の夕日



2026年元旦(江ノ島東浜)



小動(こゆるぎ)神社



JR品川駅改札に掲げられた箱根駅伝たすき型装飾



10区を走る吉中選手



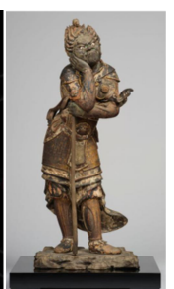
海峡をのぞむ山口県立豊浦高校HPより



静嘉堂美術館



薬師如来の12の守護神のうちの1体(午神像)



曜変天目茶碗



HPより